

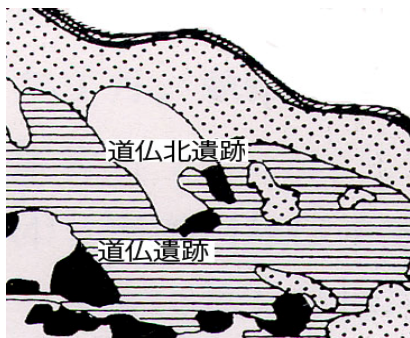
宮代町郷土資料館だより

# えんがわ

第 35 号

## 道仏北遺跡で縄文時代前期の集落を発見

平成 20 年 9 月から平成 21 年 2 月まで行われた道仏北遺跡の発掘調査で多数の縄文時代前期（約 5,500 年前～5,000 年前）の住居跡が発見されました。この道仏北遺跡は大宮台地慈恩寺支台の東端に位置し、最も標高が低い台地の一つです。地形的には和戸や須賀、百間から続く低い台地が宮代 2 丁目辺りで西側の医王院などがある道仏遺跡の台地と東側の道仏北遺跡の舌状台地に分かれますが、本地点はその道仏北遺跡の台地の基部辺りに位置します。



道仏北遺跡周辺の地形

道仏北遺跡はこれまで、平成 15 年度に県道春日部久喜線（蓮田杉戸線）建設に伴い埼玉県埋蔵文化財調査事業団により発掘調査が実施され、縄文時代前期の住居跡が 5 軒検出されています。平成 17 年度には宮代町教育委員会により

町道宮代通り線建設に係り今回の発掘調査地点の隣接地で調査が実施されました。平成 18～19 年度には住宅造成が計画されている場所である舌状台地の南端部で発掘調査が実施され、住居跡が 21 軒、土坑が 183 基、炉穴が 9 基発掘されています。住居跡の内訳は、縄文時代早期後半（約 7,000 年前）が 5 軒、前期前半（約 6,000 年前）が 5 軒、前期中葉（約 5,500 年前）が 5 基、前期後半（約 5,000 年前）が 5 基、古墳時代中期（約 1,600 年前）が 2 軒です。



平成 20 年度の調査ではスーパーマーケット建設予定地で住居跡 17 軒、土坑 167 基、炉穴 13 基が発掘されました。住居跡の内訳は早期後半（約 7,000 年前）が 5 軒、前期中葉（約 5,500 年前）が 6 軒、前期後半（約 5,000 年前）が 6 軒です。この他、縄文時代中期前半（約 4,800 年前）の祭祀に伴うと推定される土坑も発掘されました。（下が写真）



縄文時代中期前半の祭祀に伴うと推定される穴

住居跡の配置地は、台地の形態に合わせ、標高 6.25m~7m の高さに U 字状に並んでいます。真ん中は土坑などの遺構が極端に少ないことから、広場的な場所であったのかもしれませんが。この場所から時代が違うとはいえ縄文時代中期前半（約 4,800 年前）の祭祀に伴うと推定される土坑が確認されたことは非常に興味深いといえます。



道仏北遺跡全景写真

今回の発掘調査では、縄文時代前期中葉の黒浜式土器期と呼ばれる時代の大型の住居跡から多数の形になる土器が出土したことが特筆されます。第 1 号住居跡や第 7 号住居跡、第 10 号住

居跡、第 13 号住居跡で多数の土器が出土しました。特に、第 10 号住居跡からは炉跡に土器を用いた埋甕炉が発見されています。（下が写真）



第 10 号住居跡埋甕炉

平成 21 年 2 月 15 日（日）には現地説明会が開かれ、町内の方々や近隣市町の住民を中心に約 170 人の方が参加し、発掘された貴重な縄文集落を見学しました。



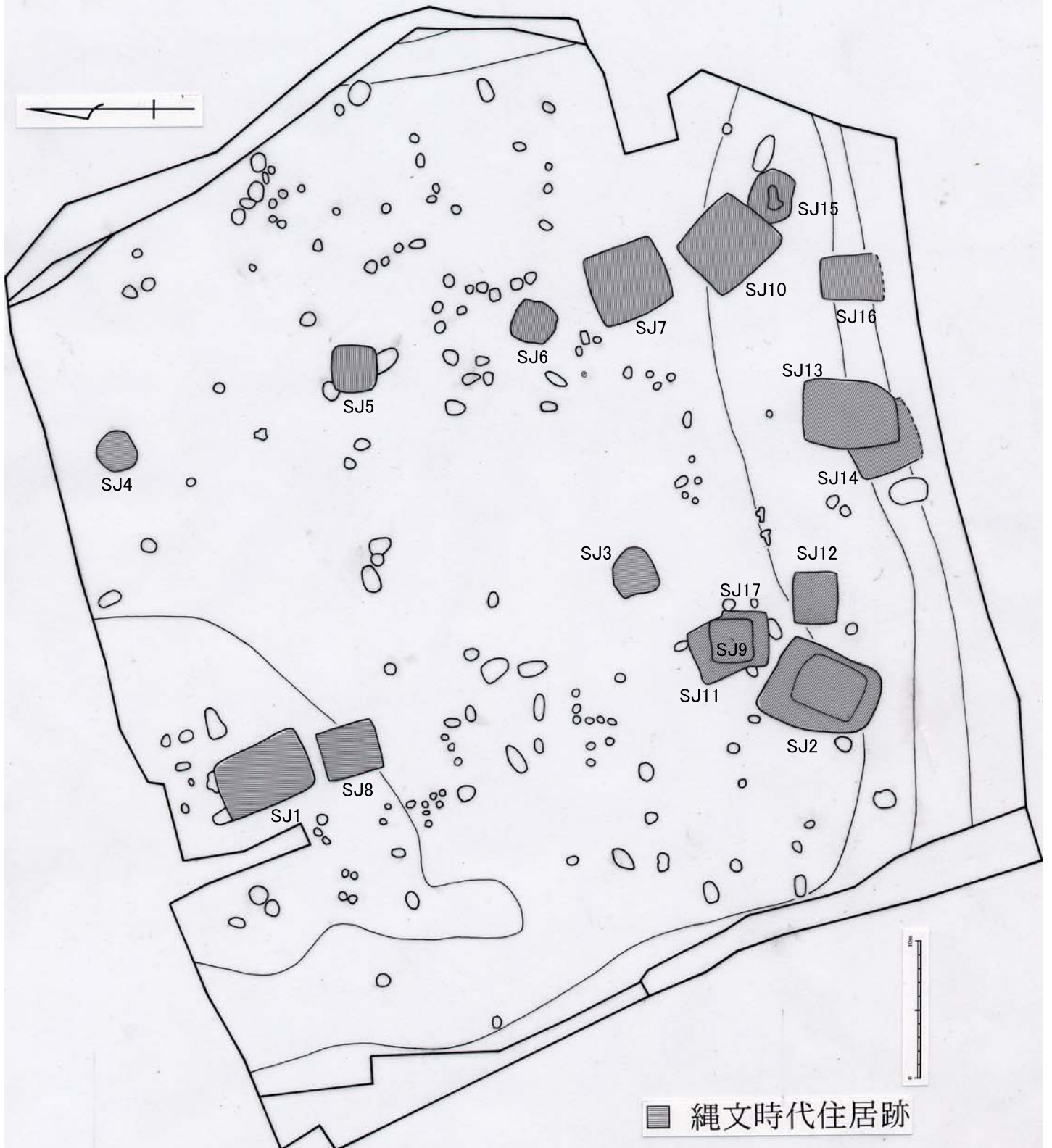
この他、約 5,000 年前の口縁部に取り付けられた獣面把手も出土しました。宮代町では初めての発見です。この獣面把手は鳥や猪を模したものとされています。



道仏北遺跡で出土した獣面把手（とって）



# 平成 20 年度道仏北遺跡遺構配置図



# 巡回展 埼玉葛の遺跡

宮代町郷土資料館では、平成21年4月19日(日)まで、巡回展「埼玉葛の遺跡」を開催しています。この展示会は、埼玉葛地区(埼玉県東部地区の旧南埼玉郡域・旧北葛飾郡域)の教育委員会文化財保護担当者により構成される埼玉葛地区文化財担当者会が主催する展示会で、宮代町で10市町目になります。

埼玉葛地区文化財担当者会は、各年度に統一のテーマをたて広域で民俗・歴史・考古の順に調査研究を行い、報告書を刊行し、その成果を一般市民にわかりやすく伝えるため、各市町の公民館や資料館、市庁舎等で巡回展を開いてきました。

宮代町郷土資料館での展示会は、春日部市の須釜遺跡の弥生土器や蓮田市黒浜貝塚出土の縄文前期土器、松伏町本郷貝塚出土の縄文後期土器の埼玉県指定文化財や白岡町のタタラ山遺跡の縄文前期土器、杉戸町出土の目沼古墳出土の須恵器、宮代町出土の前原遺跡縄文草創期微隆起線文土器、同逆井遺跡出土の旧石器時代細石器等の町指定文化財も数多く展示されています。この他にも目沼古墳出土の埴輪や春日部市浜川戸遺跡や小湊山下北遺跡の中世の漆器、

栗橋町小草原中世墓地出土の瓶子などの他市町の遺物や宮代町の前原遺跡、金原遺跡、道仏北遺跡、山崎山遺跡、山崎遺跡などの縄文土器や石器、山崎山遺跡、宿源太山遺跡、山崎遺跡、道仏北遺跡、道仏遺跡などの古墳時代の土師器や勾玉、伝承旗本服部氏屋敷跡遺跡、中寺遺跡、東条原宿屋敷遺跡の中世遺物なども展示しています。また、2月に終了した道仏北遺跡で出土した獣面把手土器なども展示していますので是非お越し下さい。

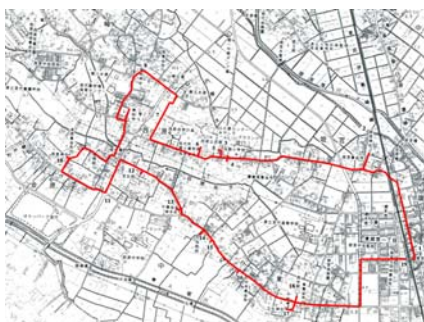


## 平成21年度第1回企画展

# みやしろ 歩け歩け! ～歩いて訪ねる宮代の歴史と文化～

花のつぼみもふくらみ、春ももうすぐそこまで近づいているようです。花のあとは新緑の美しい季節を迎えます。季節の移り変わりを楽しみながら、ウォーキングを楽しまれる方も多いことでしょう。

資料館では、歴史や文化財を中心として「宮代町内を歩いて巡る」ことをテーマにした企画展の開催



を予定しています。普段はなにげなく通り過ぎている道の片隅に思わぬ発見!

あるかもしれません。企画展で予習をしたあと、健康づくりを兼ねて宮代の歴史や文化財を訪ねてみてはいかがでしょうか?

開催期間・・・4月25日(土)～7月12日(日)

開館時間・・・9:30～16:30

開催中の休館日

4月27・30日、5月7・8・11・12・18・25日、  
6月1・8・15・22・29日 7月6日

～ 皆様のお越しをお待ちしております。～

# 重殿社に文化財案内板設置

新しい村 森の市場「結い」の南側、山崎山の雑木林の中にある重殿社に、文化財案内板が設置されました。

案内板には、重殿社について本殿や幟旗、境内の石塔、昭和46年当時の山崎山の様子などについて解説されています。

文化財案内板は、平成8年度から設置され、今回で30基目を数えます。ふるさと歩道の案内板を入れると、町内38か所に設置されています。

宮代町の文化財をネットワーク化するとともに、地域の歴史、文化に触れていただくため、各か所に案内板や標柱を随時設置しています。

町内の各地域の歴史や文化、行事などについて理解を深めるきっかけとして、この案内板を活用し、町内の散策など行ってみてはいかがでしょうか。



重殿社の案内板

## 資料館日誌抄

- 9月24日 道仏北遺跡発掘調査(2月25日まで)
- 11月15日 特別展関連講座「戦国時代の宮代と岩槻」
- 11月16日 埼玉県郷土文化会 職員派遣
- 11月22日 特別展関連講座「岩槻城について」
- 11月28日 笠原小学校4年生校外学習
- 11月30日 特別展関連講座「岩槻藩と宮代」
- 12月6日 特別展関連見学会「岩槻城を歩く・探る」
- 12月7日 利根川文化研究会視察
- 12月16日 国学院大学栃木短期大学研修
- 12月18日 第2回文化財保護委員会
- 1月9日 真蔵院遺跡・西光院遺跡試掘調査
- 1月10日 巡回展「埼玉の遺跡」(4月19日まで)
- 1月21日 道仏遺跡試掘調査(1月24日まで)
- 1月28日 郷土資料館施設内消防訓練
- 1月30日 百間小学校3年生校外学習
- 2月4日 中東遺跡試掘調査
- 2月5日 地藏院遺跡試掘調査
- 2月5・19日 百間中学校1年生校外学習
- 2月15日 道仏北遺跡現地見学会
- 2月28日 古文書講座(第1回)  
(第2回3月8日、第3回3月14日)
- 3月18日 東条原地内民家建物調査
- 3月27日 第3回文化財保護委員会

## 資料館寄贈者名簿

- |           |    |
|-----------|----|
| 岩崎克己氏     | 民具 |
| 井上清氏      | 民具 |
| 島村春江氏     | 資料 |
| 竹内久喜氏     | 民具 |
| 戸室美代子・弘子氏 | 民具 |
| 中村克己氏     | 民具 |
| 金子和生氏     | 資料 |
| 島村満彦氏     | 資料 |

宮代町郷土資料館だより えんがわ 35号

発行日 平成21年3月27日

発行 宮代町郷土資料館

郵便番号 345-0817

住所 埼玉県南埼玉郡宮代町西原289番地

電話番号 0480-34-8882

H P <http://www.town.miyashiro.saitama.jp>